

# 大人のチカラ

22

～子どもたちの未来のために～

## 家庭教育推進専門員による ワークショップのすすめ①

### 子育ての悩みや疑問 保護者の声が集まる場

**子** 育てをしているとさまざまな壁に直面します。そんな時、同世代の子どもを持つ親や先輩ママはどう対処しているのでしょうか。親同士の学びを取り入れたワークショップを取材しました。

#### 各家庭の子育て情報 参加者で共有

都市化や少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化が進む中で、家庭での教育力の低下が指摘されてい

ます。実際、保護者同士が気軽にコミュニケーションできる場や、他の親たちの意見を幅広く聞けるチャンスは少ないのではないのでしょうか。そんな保護者のために開

設されたのが、保護者同士が悩みを打ち明け合い、子どもへの接し方を学び合うことができるワークショップ。県教育委員会の「家庭教育力充実推進事業」の一環として、県PTAと協力して実施しているもので、参加者主体の学習会です。

参加者の数だけ子育て法があります。ワークショップでは、たくさんの情報を交換したり共有したりする中で、「同じ悩みを持つ人がいた」「この方法いいな」といった気付きやヒントを得られます。また、保護者同士の交流の場として、新しいネットワークづくりにも役立っています。

専門員の資格は、県の教育委員



協力／香川県教育委員会

#### 保護者と同じ目線で 専門員がナビゲート

ワークショップの司会・進行・まとめ役を担うのは、家庭教育推進専門員。ワークショップの開催地域に住む人が派遣されることが多く、子育て経験がある、また現在子育て中というお父さん、お母さんばかりです。ワークショップで学んだ後、教育長から委嘱されます。子育てにおいてのポイントやノウハウを学んでいるため、同じ目線でありながらもためになる経験談やアドバイスが受けられます。親たちが本音で話し合い、交流できる場所。それが、専門員によるワークショップだと言えます。